



学校便り

# だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年6月27日発行

合い言葉 **やればできる**

## 汗と涙の先にあるもの

校長 土岐 邦寿

今年は梅雨入りが早かったので、6月の地区総体が天候不順による運営困難となってしまうのではないかと心配していました。上旬は線状降水帯が発生するなどかなり雨が降りました。体調面も含めて部活動の最終調整も大変だったかと思います。今回の地区総体、バレーボールとソフトテニスの大会を観てきました。テニスは雨の影響を受けやすいのですが、明け方で雨もやみ、大会が始まることには熱い日差しが照りつける環境となりました。気温もどんどん上昇し30℃を突破、湿度も高かったため、テニスはもちろんのこと、室内で行われるバレーボールにとってもかなり厳しいコンディションとなりました。

3年生にとっては、負けたら終わりとなる大きな大会です。これまでの練習も各種大会もここを目標にやってきたと言っても過言ではありません。大会前はかなりナーバスになっていた生徒もいました。部活動壮行会（全校朝会）で、「～涙の数だけ人は強くなれる～苦しかったこと、大変だったことを地区総体で全部出し切ってください。」「大会に出られることを周りに感謝し、最後まで諦めないこと。」とエールを送りました。

テニス、バレーとも素晴らしい試合を観ることができました。田代中学校は小さな学校なので、他校と合同で出場したり、個人戦のみの出場になったりします。かなりのハンディとなりますが、それを吹き飛ばすくらいの活躍がありました。試合にひたむきに取り組む姿勢に保護者の応援も熱くなります。また、礼儀正しさや気持ちの良い挨拶も他校から高く評価されていました。最後までボールを追いかける姿やミスをしたときも次取り返すよと声をかけるシーンにも感動しました。3年間の集大成が観られたような気がしました。

結果、女子テニスは個人戦が1ペア、そして団体も県大会出場権を得ることができました。また、女子バレーボールは、「田代・錦江・根占・内之浦」合同チームでした。こちらも勝ち抜いて、県大会出場となりました。県大会に向けて、残りわずかですが、ブラッシュアップして仕上げしてほしいと思います。田代の子たちが活躍するのはうれしい限りです。保護者、地域の方々も応援よろしくお願ひいたします。

